

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	九州電力株式会社 代表取締役 社長執行役員 池辺 和弘
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☐ 低圧(電力) ☐ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	◆設立年月日:1951年5月1日 ◆資本金:2,373億円 ◆供給地域:福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県 ◆従業員数:11,757名 ◆販売電力量:約700億kWh(2022年度) ◆発電事業:箇所数153、設備量1,597.8万kW (自社分:水力、火力、地熱(バイナリー含む)、原子力) (2023年3月末現在)

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		ビジネスソリューション統括本部 地域共生本部 環境管理・保全グループ
	連絡先	電 話 番 号	092-726-1531
		ファクシミリ番号	092-761-7368
		電子メールアドレス	
公 表 の 担当部署	名称		ビジネスソリューション統括本部 地域共生本部 環境管理・保全グループ
	連絡先	電 話 番 号	092-726-1531
		ファクシミリ番号	092-761-7368
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2023 年 08 月 07 日		～	2024 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.kyuden.co.jp/environment_activity_gwarming.html				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	21,800(全国)	29,200(全国)

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.296(全国)	0.399(全国)	100
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	経営情報であるため非公表		
調整後CO ₂ 排出係数	0.382(全国)	0.453(全国)	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

◆電源の低・脱炭素化
○ゼロエミッション電源比率を更に高めるなど、CO₂排出「実質ゼロ」の電気を安定的に供給

◆電化の推進
○最大限の電化に挑戦し、需要側のCO₂排出削減に貢献

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー (FIT電気)	※特定のお客さまの電力使用量が推測される恐れがある			

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

◆再生可能エネルギーは、国産エネルギーであり、地球温暖化対策面でも優れた電源であることから、九州電力グループは開発・導入を推進し、国内外で2025年度400万kW、2030年度500万kW(2022年度末時点で約261万kW)の開発を目指します。開発目標の達成に向けては、九州電力グループの強みである地熱や水力の開発に加え、バイオマスや導入ポテンシャルが大きい洋上風力の開発を推進しました。
※特定のお客さまの電力使用量が推測される恐れがあるため非公表

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
※特定のお客さまの電力使用量が推測される恐れがあるため非公表			

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

◆経済性を勘案しつつ、高炉ガスや廃棄物などの未利用エネルギーにより発電した電力の購入に努めます。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

◆火力発電所の高効率運用等により、火力総合熱効率の維持・向上に努めます。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

◆お客さまとのコミュニケーションツールとなる「統合報告書」を発行し当社の環境活動への理解を更に促進していくとともに、ホームページ等にて省エネ事例の紹介や省エネ情報の提供等を行います。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

◆オフィスにおける使用電力を管理し、使用量の削減に取り組めます。

◆一般車輛の燃料消費率(燃費)を管理し、低燃費車の導入やエコドライブの確実な実施などによるCO2排出抑制に取り組めます。

◆アジアを中心にIPP事業を展開し、国内のみならず、海外においてもCO2排出抑制に取り組めます。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)